

太郎代の天曝観音 界限

太郎代天曝観音の伝説

天正年間(1573~92)に1人の異人僧がこの地へ来て、塔婆山に参拝し、「この地のために観音像を贈らん」と言って去りました。

翌年、観音像を積んだ一隻の船が太郎代の沖合にさしかかると、風はあるのに一向に進まなくなりました。船頭が不思議に思っていると夢枕に「こここそ結縁の地である、我を陸揚げせよ」とお告げがありました。そこで、

船に積んでいた観音像を浜に揚げると、船足が軽くなり、船は進むことができましたそうです。

里人は、その観音像を鎮守の境内へ安置しました。すると、不思議なことに、一夜にして像が倒れたり、場所を変えたりして安住しません。里人はこれこそ前年に僧が約束した観音像に違いないと悟り、塔婆山に移し、お堂を建てました。しかし、風もないのにお堂の屋根が飛散し、幾度建て替えをしても同じことを

繰り返すばかりでした。とうとう里人が観音像を天曝しにすると、それ以来、何事もなく平安な日が続いたということです。そのため太郎代天曝観音と呼ばれるようになったそうです。

他にも、この観音像にまつわる伝説が伝わっています。

太郎代に道路を造った小熊幸一郎

幸一郎は太郎代生まれで、北洋漁業で成功した北海道函館の実業家です。

他地域へ行くときは高い砂丘を越えなければならず、難渋を極めていた太郎代の住民のために、私財を投じて横土居に通じる巾3間(5.4m)、長さ670間(1.2km)の道路を造りました。

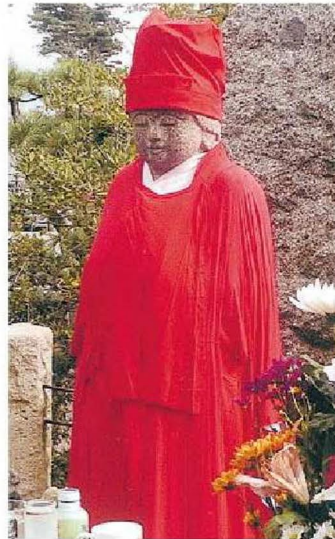
村人はその功績をたたえ、境内に「里道改築碑」や幸一郎像を建立しました。集落内にも同様に「里道修築碑」があります。



▲塔婆山金龍庵の境内に天曝観音がある。



▲太郎代の地名のもとになったという齋藤太郎太(太郎太夫)の鎮魂碑も境内にある。



▲太郎代天曝観音



▲地区の繁栄を見守る小熊幸一郎像

幕末に活躍した北区ゆかりの人々

1867(慶応3)年の大政奉還後、新政府が成立しても依然として旧幕府勢力が根強く、情勢は混沌としていました。翌年の1868(慶応4)年には、北越戊辰戦争が始まりました。新政府軍は、7月25日に太夫浜付近に上陸し、新発田藩の協力によって旧幕府軍の軍需補給地である新潟港を制圧しました。この動乱期に活躍した北区ゆかりの人々を紹介します。



殉難碑と墓石 (松浜本町2)

石原 倉右衛門

新政府軍と戦った庄内藩の重臣。1868年7月25日、武器の買入れを終えて帰る途中、松浜の五軒町付近で、太夫浜に上陸し新潟に向けて進軍中の長州兵に遭遇し、討ち取られました。遺骸は村人が近くの砂丘に埋め、墓石には南無阿彌陀仏と刻まれました。倉右衛門が持っていた武器売買契約書が重大な外交問題に発展し、日本初の領事裁判が行われました。



宿営地の碑 (太夫浜)

西郷 隆盛

長岡城陥落と新潟平定後の1868年8月中旬から約1ヵ月間、松浜の坂井家で陣を構えました。このとき、黒田清隆や山縣有朋などが西郷のもとを訪れて、今後の東北進軍について相談をしたといわれています。9月、松浜を発ち、米沢・庄内へと向かいました。

石碑が建つ太夫浜には、「太夫浜の名主の神田家で西郷が1・2泊した」という古老の話が伝わっています。



顕彰碑 (開市神社境内)

遠藤 七郎

葛塚の庄屋の家に生まれました。戊辰戦争の際は庄屋職を弟に譲り、自らは新政府軍の動きに呼応して、村内外有志と自発的に北辰隊を組織、隊長となりました。

北辰隊は長州藩の干城隊に属し、1868年8月、角石原(新発田市)で会津軍と戦いました。その後、長州藩の前原一誠や奥平謙輔の信頼を得て、佐渡や東京の警備にもあたりました。



墓 (十二)

曾我 士郎

岡方組大庄屋を務めていた家に生まれ、坂井経堂に学びました。戊辰戦争が起こると、曾我簡堂や前田又之丞と相談して岡方組正気隊を組織し、隊長となりました。隊は新発田藩の統制下に入り、新政府軍の一員として、米沢や会津方面で警備や物資運搬などの活動を行いました。



顕彰碑 (浦木)

曾我 簡堂

浦木の農家に生まれ、坂井経堂に学んだ後、江戸に出て、大橋訥庵・佐藤一斎に学びました。帰郷後は、光豊楼という名の塾を開いて地域の子弟の教育にあたりました。戊辰戦争では、岡方組正気隊の一員として活躍しました。

光晴中学校は、この光豊楼の名にちなみ名付けられた校名です。



顕彰碑 (上大月)

坂井 経堂

上大月の名主の家に生まれ、江戸へ出て佐藤一斎に陽明学を学びました。名主を継ぐと家塾を開き、地域の子弟の教育にあたりました。のちに、勤皇の大義を貫くため再び江戸に出ましたが、志半ばで亡くなりました。しかし、経堂に学んだ曾我士郎・曾我簡堂・前田又之丞などは、経堂の遺志を継ぎ、勤皇の志士として活躍しました。